

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 6 日

事業所名 しあわせ駅山内

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			部屋数が多い為、児童の状況に合わせて居場所を分ける事ができている。	
	2 職員の配置数は適切である	3		2		配置基準は満たしているが、職員の急な休みに対応しやすい人数を確保する必要がある。今後、工夫を重ね、改善していきたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	1	完全バリアフリーではないが、あえて段差を残し、注意喚起している。	
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			朝礼やミーティングにて連携を図り、業務の改善に努めている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			保護者の意見を取り入れ業務改善の努力をしている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			事業所ホームページに掲載している。頂いた意見を職員ミーティングで共有し、業務改善につなげるよう努めている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		2		現在実施できていないが、今後、導入を検討中。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			社内研修に参加し、研修内容を職員で共有、勉強している。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		本人や保護者の思いを踏まえながら、お子さまの成長に繋がるよう職員間で観察し、支援計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		個々に合わせたアセスメントツールを使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5			全職員で意見を出し合い行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			季節に合わせた内容や、平日と土・祝でメリハリをつけたプログラムを行うよう工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			支援時間や季節ごとに、利用児童の体力等も勘案して、活動できる内容や活動範囲を考え、支援時間を有効に使えるよう心掛けている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		子どもたちの発達段階に合わせて、定期的に活動内容を発展させ、工夫するよう努めている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		朝礼にて、当日の支援内容や役割分担等の確認を行い、午後出勤の職員には随時共有している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2		朝の時間や日誌を書く時間等に工夫して時間を確保し共有している。申し送り用紙も活用している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			記録を書く際に、支援計画と照らし合わせて記入している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			定期的に保護者・担当職員・児童発達支援管理責任者で話し合いを行い、児童発達支援計画の見直しを行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1		ガイドラインを意識して活動の組み合わせを行い、子ども達へより良い療育支援ができるよう努めている。		
関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1	2		児童発達支援管理責任者が参加するよう努めており、その他児童と関わりの深い職員も参加するようにしている。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1		学校からのお便りや、電子メールによる連絡事項を元に調整を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	4		現在は対象児童がいない為、行っておりませんが、必要に応じて対応していきたいと思います。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4	1		担当者会議等で、相談支援専門員や保護者より情報提供をいただき、情報共有を行っている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
機関 や保 護者 との 連 携	24		4	1		まだ卒業児童がいない為、行っていませんが、必要に応じて対応していきたい。
	25	3		2		コロナ禍以来、ほとんど研修等の機会がなかったが、今後は全職員が参加できるよう研修体制を整えていきたい。
	26	2		3		コロナ禍以来、交流の機会がもてませんでした。が、体制を整えて、活動プログラムに組み込んでいきたい。
	27			5		協議会への参加機会がなかった為、不参加だが、ぜひ参加していきたい。
	28	4	1		自宅への送迎や保護者の事業所お迎え時に、出来る限り児童の様子等を話す機会を設けて、共通理解を得て、家庭と連携出来るよう努めてる。	
	29			5		「ペアレント・トレーニング」に限ると、また実施していないが、保護者支援の観点から、ペアトレも含めて、将来的には何らかの親支援を実施する方向で検討している。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	5			契約時に書面と口頭で説明を行っている。契約時以降に説明を求められる場合にも随時対応する。	
	31	4	1		保護者からの相談には、定期的ではないが、随時対応している。ご家庭での様子もお聞きできるよう保護者とのコミュニケーションを大事にしていきたい。	
	32			5		コロナ渦の中、父母会・保護者会等を見送っていたが、親子交流会の開催等を検討していきたい。
	33	4	1		ご相談や申し入れに対しては、迅速・適切な対応を心がけている。必要に応じて話し合う時間を設けよう努めていきたい。	
	34	4	1		毎月1回、児童の写真中心の便りを発行し、日頃の様子や共有したいことをお知らせしている。連絡体制等については、今後SNSを利用し、素早い周知対応ができるよう努めていきたい。	
	35	5			保存書類は窓から見えないよう、保護シートや施錠での管理を行っている。外部への情報漏洩しないよう細心の注意を図っている。	
	36	5			特性を考慮しながら本人が理解しやすい言葉を用いたり、写真やイラストを添えて説明を行うよう心掛けていく。	
37			5		コロナ渦以来、開催できていなかったが、今後検討していきたい。	
非 常 時 等 の 対 応	38	4	1		各マニュアルは職員に周知し、資料も保管し、常時閲覧可能としている。今後は保護者への周知徹底にも力を入れていきたい。	
	39	5			定期的に行っている既定の避難訓練に加え、必要な防災・防犯訓練を行い、取り組んでいきたい。	
	40	5			社内研修にて定期的に行われている。事業所内にもポスター等を掲示し、職員間で意識するよう努めてる。	
	41	5				現在、対象児童無し。身体拘束に関する注意事項等はマニュアル化している。今後、身体拘束を必要とする児童が利用になった場合は、作成したマニュアルに基づいて行うことを全職員に周知徹底し、個別支援計画に記載を行う。
	42	3	2		医師ではなく保護者からアセスメントでいただいた情報を元に対応している。今後も必要のある時には対応していく。	
	43	5			ヒヤリハット事例集は職員に周知し、資料も保管し、常時閲覧可能としている。	